

(4まちづくりの基本目標

「目指す都市像」は、新市が長期的な観点から達成していこうとするものです。そこで、「目指す都市像」を実現していくための戦

略的、重点的な目標を設定し、「まちづくりの基本目標」とします。基本目標設定に当たっての基本的な考え方は、次のとおりです。

築く 都^{みやこ} のデザイン
多核型都市の
スタートアップ

新市に3つの都市核(静岡、清水、東静岡)を形成するとともに、複数の都市拠点を配置し、それぞれを交通・情報ネットワークで有機的に結ぶことにより、新市全体の均衡ある発展と都市機能の飛躍的な向上を図ることを目標とします。

暮らす 人^{ひと} のデザイン
市民生活の
グレードアップ

健康で豊かな市民生活を、責任と役割を自覚した新市民と行政とのパートナーシップに基づく高水準の福祉と文化創造により確立するとともに、新しいコミュニティの中で安心して暮らせる、安全で快適な都市環境を実現することを目標とします。

栄える 市^{いち} のデザイン
都市活力の
パワーアップ

自由闊達な競争の促進と自主的な規制緩和によって、頭脳流入と創業、産業創造を促進し、安定した経済成長を通じて雇用、所得、財政の増大を図るとともに、経営意思の統括や国際取引の活性化により、アクティブな情報を求めて人々が集散する、刺激に満ちた中枢経済圏を確立することを目標とします。

満たす 市政^{しせい} のデザイン
市民行政の
レベルアップ

大都市行政を的確、適切に展開していくため、スケールメリットを活かした効率的な行政体制の整備と、市民と行政の適切な役割分担のもと、市民本位のきめ細かで、高次・高質な市政を確立していくことを目標とします。

基本目標設定に当たっての基本的な考え方

合併による相乗効果を発揮し、既存の都市レベルからの向上が明らかになること。

市民生活の向上が、明らかになること。

中枢都市として、国内外において新市が担うべき役割が明確となること。